

平成23年1月11日定例経営会議（要約）

（平成23年1月11日 午前9時30分～12時00分）

新たな創造 変化に対応

I 開会 ～ 市長あいさつ

- ・ 新年が始まって実質的には初めての経営会議である。
- ・ 昨日は寒風吹きすさぶ中で本年の消防団出初式を挙行させていただいた。東京消防庁から第八方面本部長がお出でいただくとともに、恒例の東京消防庁音楽隊とカラーガーズ隊にも参加いただき花を添えていただいた。若干時間的には遅れもあったが、滞りなく終了した。防災安全課はじめ、関係所管はご苦勞様であった。
- ・ 午後は明法学園の講堂をお借りして成人の日の集いを行った。今年は会場の中になかなか入らない様子と、例年に比べてざわついていた。また、当市で初めて壇上に駆け上がる者が現れるハプニングがあった。昨年も会場内で旗を振り回す者やラップ飲みしている者もいたが、壇上に駆け上がられたのはおそらく初めてだろう。新成人が行う成人の誓いを、五中出身で今年度インディペンデンスに行かれた女性が、成人の誓いを読み終え封筒にしまつて私に手渡すタイミングで男性が上がってきた。「自分もスピーチしたい」ということであったが、すぐに取り押さえ、袖に控えていた警察署の方に事情聴取された。酔っているわけでもなく、話してみれば普通に会話ができる青年であった。話したいことが書いてあったものも割ときちんとしていた。朝から「市長に会わせてほしい」「自分も皆に発言したい」と言っていたらしい。今後、成人式のあり方も検討しなければならないのかもしれない。発言したい人がいるならば事前に申し込む等の方法を考えた方がいいのかもしれない。20歳になって皆の前で発言したいという思いは良しとしたいが、やり方がいけない。各地でも成人式の実施方法については工夫しているので、今後、教育部で検討できればと思う。
- ・ 新年がスタートして本日で1週間経った。年頭挨拶でも話したが、今年は「発信力向上元年」「仕事のバージョンアップ元年」「人材・自身のパワーアップ元年」にしようと職員に呼びかけた。部長からも「年頭に市長がこう言った」と折りに触れて意識喚起し、各所管で自分たちの仕事を市民に発信する力を養ってほしい。より効率性・効果性を高める仕事のやり方とは何か、「毎年こうしていたから、このようにやり続けなければならない」というわけではないので、仕事のバージョンを上げていただきたい。また大量退職時代を迎えて、それぞれの職員がパワーアップしていただきたい。まずは自己学習が必要だろう。折りに触れて督励願います。
- ・ 予算編成は、1月7日に今年初めての理事者査定を行った。かなり時間がかかったが、実施計画事業をほぼ終え、基礎建設事業も終えた段階であり、予算編成の山場に差し掛かる。レベルアップしていなくても経常経費が増える事項があるので、今後も常に行財政改

革を進めなければならないという姿勢が求められるだろう。今後、財政所管と、場合によっては担当所管にも出ていただいて市民にとって最善の予算を編成したい。各部長のご理解・ご協力をお願いします。

II 協議事項

(1) 平成23年度当初予算参考資料の作成依頼について

- ・昨年度から予算特別委員会の資料を作成し一定の成果を上げ、各議員からも評価いただいている。平成23年度の予算特別委員会にあたっては、各会派から要望をいただいております。作成提出をお願いします。
- ・予定として、参考という形で資料の作成依頼を出しているが、資料は基本的に平成22年度予算参考資料の23年度バージョンを作るという形で進める。また、併せて追加依頼されている資料も作成する。
- ・追加資料の要望については、内容を精査し、「対応できるか否か」、「要望内容の不明点」、「何のために使う資料か」等について議会事務局へ回答する。その回答を議会事務局で整理してから、1月17日に各課へメールで作成依頼を通知し、回答提出期限を2月8日までとし、17日の告示日に資料提出する。

(2) 感謝状の贈呈について

- ・継続して協議する。

(3) 議会対応研修会について

- ・開催について協議する。

(4) 平成23年度及び24年度の職員体制について

- ・継続して協議する。

(5) 監査指摘事項への対応について

- ・会議時間の関係により次回に送り協議することとする。

III 報告事項

(1) 会議等の時間外勤務縮減の取組みについて

- ・ 会議時間の関係により、次回に送り協議することとする。

(2) きめ細かな臨時交付金・住民生活に光をそそぐ交付金について

- ・ 国の平成22年度補正予算で2本の交付金が示された。「きめ細かな交付金」は、21年度にもあったもので第2弾である。総額2千500億円で、東村山市には4千568万2千円の交付限度額が示された。
- ・ 同じく「住民生活に光をそそぐ交付金」は、地方消費者行政、DV対策・自殺予防、知の地域づくりの目的で総額1千億円、東村山市には1千342万1千円の配分額となった。

(3) 東村山駅付近連続立体交差事業に関する職員向け説明会について

- ・ 1月17日から21日まで、マルチメディアホールにおいて、12時30分から30分間程度、「連続立体交差事業」について、職員を対象とした説明会を実施する。
- ・ 11月29日、30日に市民への説明会を実施したが、その中で出た質問等も含め、説明と質義応答を行う。

(4) 市議会3月定例会提出予定案件・施政方針事項について

- ・ 各部の提出を確認する。

(5) 市長と職員の昼食会について

- ・ 今月の昼食会は1月20日（木）11時30分から行う。各ブロックの推薦者を17日（月）までに経営政策部次長へ連絡する。

(6) その他

- ・ 平成23年度当初契約事務における準備行為について2月1日から開始することとする。
- ・ 1月23日に中央公民館で、「考えよう東村山みんなで子育て」と題した子育てについての映画上映とトーク会が開催される。

IV 閉会 ～ 副市長

以上